

結・ゆい・メイト

～第11号～

報告コーナー

☆ 語り合いませんか“思春期のころ”(森下先生)の講演を聴いて

今年の夏は、酷暑・猛暑・灼熱地獄、どんな表現をしようとも、とにかく暑かった。

口には出さないけれど「早く涼しい秋が来ないかな～」と首を長くして待っておりましたら、今日は過ごしよい秋晴れとなりました。これから秋が過ぎ冬の季節へと向いますが人間は身勝手なもので、寒ければ寒いので「早く夏が来ないかな～」と恋しがると、かくこんな勝手集団が寄り集まって、この社会が成り立っていることも事実なんですね。あと2年と半年で、私も退職年齢に達し社会の休息ベンチに座る権利を得られるのですが・・・まだまだ休息は出来ません。

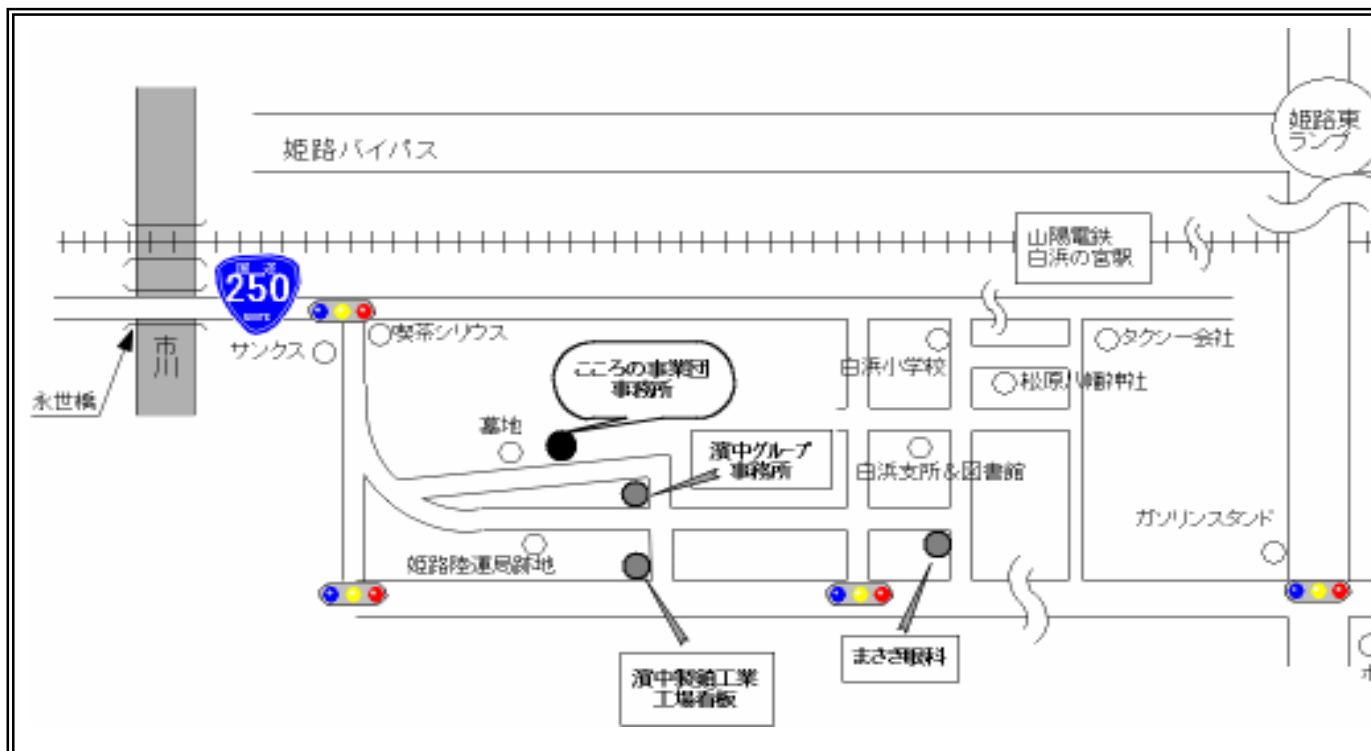
さて、戦後生まれの私の子供時代は、森下先生が語られたと同じように、破れたズック靴から足の指が出ているのも気にせず、まだまだ残っている原っぱの中で、元気に大声を上げながら上級生を中心に「チャンバラごっこ」「戦争ごっこ」「ソフトだ。野球だ」などと全身全霊で遊びに夢中になりながら日々過していました。上級生は下級生を常にかばい、下級生は上級生を尊敬し信頼をしながら夜が更けていることも忘れ泥だらけで遊んでいました。母親が夕食だと呼びにきてもお仲間と夢中で遊んでいました。皆が貧しかったけれど身体一杯に夢を描き仲間と語り合うことが出来ました。そんな悪ガキ達も大人になると父親達が造り残した国土復興の基礎を継ぎ、「追いつけ追い越せ」、「負けたらあかん」の掛け声の下、寝食を惜しみ「企業戦士」と言われながら働き続け社会を熟成させたのが団塊の世代と考えます。いつの頃からだろう。「偏差値」や「高学歴重視」と言う社会風潮に流されながら私流の結果を子供達に託し追い求める自分になっていたのは。「職場での成果主義を家庭にまで持ち込み全ての数字や行動で評価していた自分」、「勝手に批評を繰り返す己の価値観だけを信じ子供に押し付けていた自分」、「子供が従ってくれたときは、まるで自分ひとりが天下を取ったように、得意げになって酔っている自分」全て、自分の価値観だけで、人の心を動かそうとしていたのかも知れません。もし、息子が子供時代まで還ることが出来るのなら今の私は、何十倍も時間を作り共に子供と遊び、語り、遊びつかれた子供の寝顔を見ながら毎日を過ぎてやりたいと望むでしょう。しかし、望んでも望んでも、もう遅い事は解っています。遅いのならせめて、苦しかった日々を狭い部屋に引きこもっている最愛なる息子の人生感を認めてあげる。息子にはこんな親だけ父として認めて欲しいのです。否定し合ってきた父と息子が互いを認め始めたとき、再び共に歩き始める事が出来るのではないのでしょうか。そう、なんと言っても家族ですからネ。いつも許し合えるのが家族だと考えます。

内藤 弘司

姫路こころの事業団が大事にしていること

1. 自分らしく主体的に『生きる』ことを 勇気をもって選択できるようサポートする
2. 自分をみつめる勇気、思いやりを行動に移す勇気を育む
3. 人と人とのつながり、人と自然とのつながり、人と地域社会とのつながりを回復する

悲しいとき・苦しいとき、一人で悩んでいないで、話してみませんか？ 同じ体験をしたもの同士話し合うことで糸口が見つかるかもしれません。



☆ バイオグラフィーワーク『わたし』の歴史と未来』の講座に参加して

私は、「風と共に去りぬ」の物語が大好きです。マーガレット・ミッチェルは、南北戦争という困難な時代を題材にし、いろいろな人物を登場させることによって、人はいかに生きていくかを読者に問いかけているように思います。

姫路こころの事業団主催の「わたしの歴史と未来」の講演に参加しての帰路、私は、まるで映画を見終わった後のようなさわやかな感動と勇気を感じながら姫路の街を歩いていました。そして、「風と共に去りぬ」で、主人公のスカレット・オハラが、全てを失ってしまって絶望の悲しみの中からふるさとへ帰ってこれからのことを考えようと力強く宣言するラストシーンを思い出していました。近見富美子先生は、穏やかで淡々と私達に話しかけて下さいましたが、私には人生の応援歌に聞こえました。「捨てたものじゃない。人間はいついかなる時でも、それが50才・60才・70才であっても出発点に成り得ますよ。」と言っているように感じました。人間は、生を受けた時点から、人間のテーマは「生きる」であり、もちろん文学・絵画・音楽・映画などを含めた芸術や哲学のテーマも「生きる」であると再確認しました。

私は、50才を過ぎています。それを、もう人生の半分は終わったと感ずるか、いやまだ半分残っていると感ずるか、そんなことを考えること事態愚かと感ずるか、いろいろあるでしょう。シュタイナーの論理からいうと、私は、今まさに精神性を与え創造性の世界に生きているわけですが、はたしてそんなに有意義に意識的に生きているかどうかです。ただ、幼少期をワークショップの形で下さったおかげで、自分のそれが家族や地域の人々の深い愛情に包まれ自然がいっぱいの豊かな環境で育ったということを思い出することができました。そして、幼少期の生き方が現在に繋がっていることを理解したとき、人々に感謝しその重要性を痛感しました。そして、やはりこんなに愛情を与えられたのだから、今度は周りの人々に与えなければいけないと思いました。

シュタイナーは、オルターナティブの先駆者です。人は自然と共生してこそ価値があり人間らしいのであって、この大切な自然を次世代の人々に渡していかなければなりません。傲慢にならず、人と自然に感謝し、幸せを創りだしていけるそんな生き方をこれからしていきたいと思います。このような思いを持つ機会を与えて下さった近見富美子先生、姫路こころの事業団の方々ありがとうございました。

駒井 小百合



近見富美子氏の
バイオグラフィーワーク

次回のお知らせ

2006年1月14・15日

(土・日)

皆様の御参加お待ちしております。

☆ 中村川浄化いよいよ本格スタート



白浜海水浴場に流れ込む中村川のEM菌による浄化がいよいよ9月から漁業組合の星尾様のご協力で始まりました。

計画は、毎月2トンのEM活性液を作り、約1年にわたり

放流するものですがそれにより、川、河口が浄化され、魚や、貝が生き返ってくると期待しております。

川の浄化には、EM団子の効果が高いので、平行して、多くの皆様にご協力いただき団子作戦も進めていただければ、もっと効果が上がると思い、期待をしています。

植木 房幸

☆ わくわくエンジョイ隊 第1回 みんなであそぼう／を終えて

9月10日(土)に白浜・浜手緑地公園で”みんなであそぼう”を終えました。始めは、夏休み中と言っていたのですが、時が過ぎてしまいました。気負わずに何か楽しいことしてみない?と「安・安」の松本さんにアドバイスを頂き、やっと実現しました。

一番人気だったのが、ペットボトルのボーリングでした。景品も無いのに、一生懸命に投げる子・それをニコニコしながら直してくれる子。この子達の笑顔は最高でした！大人がいなくても順番に並んで、お兄ちゃん・お姉ちゃんの言うことを素直に聞いて、ルールを守り遊ぶ。子供もすてたものでは無いと思いました。

それからは、ダンボールです。彼らの独創性には驚きました。もっと時間と材料があれば、どんな大作が出来るのだろうというぐらいの、勢いがありました。

そして、EMだんごを練ってくれた中学生のお兄さん、ありがとう。助かりましたよ！少しにおいもあり、土も握りにくかったのですが、これが水をきれいにして、環境に役立つのだと聞いて、頑張って作ってくれた子供達。ありがとう！これからも一緒に見守ろうね。最後に、一人一人に拍手をして、全員に金メダルを授与しました。とても楽しく終わりました。

アイデアを出してくださり、即メダルまで作って頂き、ありがとうございます！こんなに楽しく終れたのも、お手伝いに来てくださったお母様・お兄ちゃん・お姉ちゃん・そして濱中さん・松本さん・北村さん・井上さん皆様のおかげです。反省することも沢山あるのに、気持ちよく協力してくださり、この場をお借りしてお礼を言わせてください。ありがとうございます！

宮下 幹加



☆ まみキッチン

7月にまみキッチンを始め、3ヶ月になります。

そのキッチンを始めきっかけは、夜の外出などを避けて、事務所の台所で食事を作って、皆でいただくということでした。メニューは何にするか、前もって決めて、私が材料を用意して、台所で調理します。

今までは、スパゲッティ、ハヤシライス、ポテトサラダなどありふれたメニューを出しました。最初は、味が良いかどうか気になっていましたが、皆に美味しいと言ってもらってほっとしました。

私は、かつて、家庭料理を教えてくださいの先生の方へ西宮まで月に1回通ったものでした。料理の基礎を学びながら、楽しく料理をしたものでした。そこで習ったレシピが何十枚もたまっています。またの機会に、レシピの中からピックアップして、料理を出そうと思っています。

毎週木曜日の夜に、キッチンを開いておりますが、どうぞお気軽に事務所へいらしてください。皆で楽しくいただきます。食費は、材料費を人数で割った値段になりますので、よろしく願いいたします。

食事が終われば、卓球をして楽しく過ごします。

井上麻美

☆ 「コミュニティ・ビジネスフェア」に参加して

「コミュニティ・ビジネスフェア」に姫路ころの事業団の活動紹介のブースを頂きました。「参加してみませんか」と前川さんから声をかけて頂き出掛けましたものの、私たちの活動はまだまだCBとは言い難い段階だったので 参加していいものかどうか不安を抱えながらの参加でした。

午前中に活動紹介の機会を10分間いただき ひきこもっている若者や家族の苦悩、そういう家族への社会のまなざし、それに対して事業団がどういう活動をしているかを話すことができました。その後、たくさんの方々から声をかけて頂きました。姫路にお住まいの方、中播磨県民局内の方、比較的近い距離の所でもこんなに地道な活動をされておられることを知り、これからのお互いのできるところの協力を約束し良い出会いに感謝しつつ家路につきました。

また講演をされた、石毛宏典さん(四国アイランドリーグ代表、元プロ野球オリックス・ブルーウェーブ監督)格好良かったです。敗者復活のため また本当に野球が好きなたちが野球を通じて生きていける場をつくるためにアイランドリーグを立ち上げられた話、型の大事さ、そのための体づくりの大切さ、25歳を超えるとその人なりの癖がついてしまっており直すのに2~3年はかかるので25歳以上は難しい、などなど。私たちの活動と重なり 一度、姫路にも講演 お願いできないかと真剣に考えてしまいました。

”今”というときに 必要な社会問題を 全て含みこみ そのことに”人”への優しいまなざしを持って 石毛さんならではのことを真剣に取り組まれておられると感じました。第2、第3の石毛さんが いろんな分野で現れることをころから願います。

濱中 美喜子



☆ 畑の土いじりで「ころ」を「アース」しよう！！

妻鹿でお借りしている事業団の「Myはたけ」ですが、8月には「すいか」「網干メロン」、9月には人気の紅東さつまいもの思わぬ大量の収穫を最後に残念ながらお返しすることになりました。焼き芋、ふかし芋、バター焼き、味噌汁の具と事業団で楽しんでいます。大収穫の「紅東さつまいものおいしい食べ方を募集中」です。ぜひともレシピを教えてください。これからは間伐材で作った木枠の畑でお花を育てる感覚で野菜づくりに挑戦です。

三好さんの人智学入門

こんにちは。今回は『他人のころの中は見ることが出来ない』といいました。

心には思考・感情・意思が働き、欲望や願望が渦巻く一方に判断の力が介入するといいました。見ることが出来ない心の中を何故このように区別出来るの？と疑問を持たれた方がいらっしやいましたか？

実はですね『見ることが出来ない』のは、私たちのように普通の感覚器官(いわゆる五感と呼ばれる目・耳・鼻・触覚など)にたよって物事を捉えるからです。感覚に頼る認識法だけでは、この世の中の全ては解りません。

人類は古代から延々と『感覚に頼らない認識法』を受け伝えてきました。『色即是空』の叡智もそうです。そして、その方法によってこそ物事の本当の姿を捉えることが出来るようなのです。

物質科学を全能と信じてきた結果、人の心はすさみましました。今こそ感覚に頼らない物の見方があることに目覚めるときです。心の問題に取り組むときは、まずこの事に心を開かねばなにも見えてきません。

その事に気づかせるために今、心を病む大人や子供が社会の問題となっています。私達はこの事から目をそらして、気休めに逃げ込んでいても事は悪くなるばかりです。『どうしたらいいのか』と求めなければなりません。

『求めよ、さらば与えられん』です。きっとよい方向に行くことが出来るでしょう。

人智学研究者 三好衣子

お知らせコーナー

◆ ふくろうの会

ミニ定例会は、古布のぞうり作りです。

講師：市川消費者の会 会長 後藤まり子様

日時：10月9日(日) 11:00~企画運営会、13:00~ぞうり作り

場所：姫路ころの事業団 事務所

材料費：500円。手ぶらで来て下さい。古布は用意しています。

10月定例会は京都オレンジの会との合同交流会です。

日時：10月23日(日) 11:00~

集合場所：JR 六甲口駅山側

参加費：1,500円+昼食実費(工房のベランダでみんなで作って食べましょう)

場所：六甲ケーブル山上駅から徒歩10分 阪井ガラス工房、昼食・ガラス作成体験・自由行動

雨天決行 秋の一日、ケーブルカーに乗って表六甲を満喫しませんか。

いつもとは違った心模様が見えるかも・・・

◆ 灘のけんか祭り

日時：10月15日(土)p.m.5:00～
お旅山棧敷に案内します

◆ 「こころと花と緑と」——人と人とのつながりを求めて——

講師：兵庫県立淡路景観園芸学校 主任景観園芸専門員 平田 富士男
日時：11月13日(日)a.m.10:00～12:00
場所：姫路市白浜公民館
参加費：無料
定員：50名

◆ 第11回 語り合いませんか ～思春期のこころと体の葛藤～

講師：森下神経内科診療所 所長 森下 一
日時：11月20日(日)13:30～16:30 (受付13:00～)
場所：姫路市自治福祉会館 大会議室(7F)
参加費：1,000円、会員800円
定員：150名(先着順)

◆ Fの会(担当:三好) 第4火曜日

female(女性)のF,first step(最初の一歩)のFの会をしています。
それ以外の週は誰でも遊びに来てください。

◆ まみキッチン & ピンポン & 楽しみ隊 毎週木曜日 19時～21時

どなたにでもオープンしています。ぜひ遊びに来て下さいね。
楽しみ隊では、その日に楽しみたいことをきめています。
まみキッチン参加費 実費

事務局からのお知らせ

月・火・金、13時～17時ご確認のうえ、お出かけ下さい。
月曜日は会員の家族相談をお受けしています。
一般の方は随時お伺いします。どちらもご予約下さい。

事務局からのお願い

家族会員・賛助会員・通信会員の募集をしています。
ボランティア支援者の募集をしています。
事務局にお問い合わせ下さい。
見学を兼ねて遊びにおいで下さい。



スケジュール

事務所開設日は、月・火・金、13:00～17:00 です

10月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3 スタッフ会議	4	5	6 まみキッチン ピンポン	7	8
9 ふくろうの会	10	11 スタッフ会議	12	13 まみキッチン ピンポン	14 けんか祭り	15 けんか祭り
16	17	18 スタッフ会議	19	20 まみキッチン ピンポン	21	22
23 合同ハイキング	24 スタッフ会議	25 Fの会	26	27 まみキッチン ピンポン	28	29
30	31 スタッフ会議					

11月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7 スタッフ会議	8	9	10 まみキッチン ピンポン	11 ふくろうの会	12
13 平田先生講演	14 スタッフ会議	15	16	17 まみキッチン ピンポン	18	19
20 語り合いませんか	21 スタッフ会議	22 Fの会	23	24 まみキッチン ピンポン	25	26
27 ふくろうの会	28 スタッフ会議	29	30			